



佐渡裕 & スーパーキッズ・オーケストラ
能登半島地震 復興祈念のコンサート

こころのビタミン プロジェクト in 能登



指揮：佐渡 裕

2026年

2月28日(土)

11:00開場

11:30開演

入場無料

12:30終演予定

大本山總持寺祖院 法堂(大祖堂)

【主催】 大本山總持寺祖院、兵庫県立芸術文化センター
【プロジェクト・パートナー】 サントリーホールディングス、ピアス
【プロジェクト・サポーター】 早駒運輸 神戸シーバス、JTB

お問い合わせ
大本山總持寺祖院
☎ 0768-42-0005

サントリーの
能登復興
支援活動

佐渡裕 & スーパーキッズ・オーケストラ こころのビタミンプロジェクト in 能登

指揮 佐渡裕

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアを代表し110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。オランジュ音楽祭「蝶々夫人」（演奏：スイス・ロマンド管弦楽団）、トリノ王立歌劇場「ピーター・グライムズ」、「カルメン」、「フィガロの結婚」など海外のオペラ公演の実績も多数ある。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、サントリー1万人の第九総監督等を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」を25年5月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫／新書)など。出光音楽賞（1991年）、モンブラン国際文化賞（2003年）、渡邊暁雄音楽基金音楽賞（2003年）、岩谷時子賞（2014年）、文部科学大臣表彰（2024年）、外務大臣表彰（2025年）などの受賞歴がある。

オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



スーパーキッズ・オーケストラ

兵庫県立芸術文化センターのソフト先行事業として2003年より活動を開始。高い演奏技術を持つ全国の小学生から高校生までの弦楽器に取り組む子供たちをオーディションにより選抜し、当センター芸術監督の佐渡裕の指揮・指導により、様々な活動を展開している。毎年8月末の芸術文化センターKOBELCO大ホールでの成果発表演奏会のほか、県内市町と連携したミュージック・キャンプ、各種イベントやテレビ番組への出演をはじめ、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害の被災地において心の復興を願う演奏会「こころのビタミンプロジェクト」を実施するなど、その活動は多岐に渡っており、各地で奏でられるクオリティの高い演奏と純粋な音楽で、全国より注目を集めている。17年11月「第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」、19年1月「2018年関西元気文化圏賞ニューパワー賞」、24年12月「兵庫県芸術奨励賞」受賞。
<https://www.facebook.com/superkidsorchestra>

こころのビタミンプロジェクトとは

2011年に発生した東日本大震災をきっかけに、世界的指揮者であり兵庫県立芸術文化センターの芸術監督を務める佐渡裕と、小学生から高校生までの子供たちで編成されたスーパーキッズ・オーケストラが、大規模災害の被害に遭った被災地の心の復興を願って、訪問演奏を行うプロジェクト。

東北は2011年より、コロナ禍の2020年を除いて毎年訪問。これまでに岩手県は盛岡・宮古・釜石・大槌・大船渡・陸前高田・山田・田野畑・久慈・洋野・岩泉、宮城県は仙台・名取・七ヶ浜・石巻・南三陸・気仙沼、福島県はいわき・南相馬でコンサートを実施。

また、2016年の熊本地震では2019年まで熊本・南阿蘇・阿蘇・益城・嘉島・菊陽を訪問。

その他、2011年の和歌山大水害から7回忌となる2017年には那智勝浦を訪問し鎮魂演奏とコンサートを行いました。